



2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年11月14日

上場会社名 フォスター電機株式会社 上場取引所 東
コード番号 6794 URL <https://www.foster.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長CEO (氏名) 岸 和宏
問合せ先責任者 (役職名) IR・ガバナンス統括部長 (氏名) 小菅 一郎 TEL 042-546-2305
四半期報告書提出予定日 2023年11月14日 配当支払開始予定日 2023年12月6日
四半期決算補足説明資料作成の有無： 有
四半期決算説明会開催の有無： 有（アナリスト・機関投資家向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2024年3月期第2四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	59,701	2.3	2,165	516.2	2,139	428.5	1,114	—
2023年3月期第2四半期	58,385	32.8	351	—	404	—	△249	—

（注）包括利益 2024年3月期第2四半期 6,357百万円（9.6％） 2023年3月期第2四半期 5,797百万円（－％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	50.17	—
2023年3月期第2四半期	△11.25	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第2四半期	97,280	62,684	58.3	2,547.67
2023年3月期	92,871	56,515	55.0	2,302.49

（参考）自己資本 2024年3月期第2四半期 56,666百万円 2023年3月期 51,095百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	10.00	—	10.00	20.00
2024年3月期	—	10.00	—	—	—
2024年3月期（予想）	—	—	—	15.00	25.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 有

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	120,000	△1.1	4,000	63.5	3,500	50.3	2,000	135.7	90.05

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社 （社名）ー、除外 ー社 （社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期2Q	25,000,000株	2023年3月期	25,000,000株
② 期末自己株式数	2024年3月期2Q	2,757,660株	2023年3月期	2,808,421株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期2Q	22,210,437株	2023年3月期2Q	22,186,310株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(追加情報)	8
(重要な後発事象)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(2023年4月1日～2023年9月30日)における世界経済は、約3年にわたる新型コロナウイルス感染拡大の終息により経済活動の再開が本格化する一方で、ロシアによるウクライナ侵攻の長期化やイスラエル・ハマス衝突等の地政学リスクの高まりもあり、不透明感が増しています。また、先進国ではインフレ沈静化の動きも見られず、米欧での急速な利上げ、さらには中国の不動産危機による景気減速懸念等、引き続き世界情勢は予断を許さない状況が続いています。

当社グループが注力する自動車関連市場では、半導体不足の緩和、電気自動車(EV)の生産・販売拡大等もあり、販売回復基調が続きました。米国自動車業界における労働争議も終息に向かい、業績への影響は限定的なものとなる見込みです。

こうした中、当社グループは中期事業計画に定めた「パートナー戦略」を推進し、需要予測の精度を高め最適な生産体制、在庫量を保持すべく努め、引き続き継続的な原価改善施策を推進しました。また、地政学リスクを見据えたベトナム(ビンズオン省)工場でのスピーカ生産、地産地消と物流面でのCO2削減を目指した欧州・ハンガリー工場の立ち上げ準備も順調に進んでいます。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、59,701百万円(前年同期比2.3%増)の増収、損益面では、営業利益が2,165百万円(前年同期比516.2%増)、経常利益が2,139百万円(前年同期比428.5%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益が1,114百万円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失249百万円)の増益となり、一時的なコスト増があった前年同期比増収増益となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりです。

[スピーカ事業]

自動車関連市場は、販売回復基調が続く一方、第1四半期において一部顧客においてサプライチェーン混乱時に積み増した在庫調整に伴う出荷数量の減少があったことから、売上高は47,372百万円(前年同期比0.6%減)となりました。損益面では、韓国の連結子会社(12月決算※)が昨年初に計上した空輸費用7億円余りが無くなったことや海上運賃の低下等に加え、継続的な原価改善策の結果、営業利益は1,984百万円(前年同期は営業損失51百万円)の増益となりました。

※韓国連結子会社は12月決算のため、当社グループの当第2四半期連結累計期間には2023年1月～6月を連結対象としています。

[モバイルオーディオ事業]

民生用アクチュエータや車載用ヘッドホンが計画通りの出荷となったことに加え、前年同期から導入・推進した研究開発型ビジネスの売上寄与もあり、売上高は8,255百万円(前年同期比20.7%増)の増収となりました。損益面では、ヘッドホン関連商品の販売等から、営業利益は362百万円(前年同期比14.0%増)の増益となりました。

[その他事業]

小型音響部品事業、「フォステクス」ブランドの製品を含むその他事業は、接近通報音用スピーカ等の販売から、売上高は5,574百万円(前年同期比5.4%増)の増収となりました。一方、損益面では、フォステクス事業の収益率悪化に加えて、小型音響部品事業が円安の影響を受けたこと、また一部顧客の在庫調整の影響等があり、181百万円(前年同期は営業利益85百万円)の営業損失となりました。

(2) 財政状態に関する説明

総資産は、棚卸資産と前渡金が減少する一方、現金及び預金、有形固定資産の増加により前連結会計年度末に比べ4,409百万円増加して97,280百万円となりました。負債は、主に短期借入金の減少により前連結会計年度末に比べ1,760百万円減少して34,595百万円となりました。純資産は、主に利益剰余金、為替換算調整勘定の増加により前連結会計年度末に比べ6,169百万円増加して62,684百万円となりました。また自己資本比率は、前連結会計年度末比3.2ポイント増の58.3%になりました。

(キャッシュ・フローについて)

当第2四半期末における現金及び現金同等物の残高は、以下に記載のキャッシュ・フローにより16,882百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,235百万円増加しました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金の増加は、棚卸資産の減少等により10,887百万円となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金の減少は、設備投資等により1,337百万円となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金の減少は、短期借入金の減少により7,189百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

最近の業績動向に鑑み、2023年5月11日の決算短信で公表しました通期業績予想及び期末配当予想を修正しました。詳細につきましては、本日別途開示しています「通期連結業績予想及び期末配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年 3 月 31 日)	当第 2 四半期連結会計期間 (2023年 9 月 30 日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	13,646	16,882
受取手形及び売掛金	24,988	25,387
電子記録債権	482	449
製品	20,037	18,777
原材料	8,195	8,053
仕掛品	1,492	1,387
貯蔵品	137	144
未収入金	813	1,410
前渡金	3,096	1,238
その他	1,173	1,751
貸倒引当金	△169	△104
流動資産合計	73,893	75,378
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	6,718	8,385
機械装置及び運搬具（純額）	4,122	4,562
工具、器具及び備品（純額）	1,764	1,887
土地	1,575	1,687
建設仮勘定	848	1,059
有形固定資産合計	15,030	17,582
無形固定資産		
ソフトウェア	81	102
その他	132	149
無形固定資産合計	214	252
投資その他の資産		
投資有価証券	1,446	1,810
長期前払費用	82	77
退職給付に係る資産	1,313	1,262
繰延税金資産	669	649
その他	221	267
投資その他の資産合計	3,732	4,067
固定資産合計	18,977	21,902
資産合計	92,871	97,280

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,380	11,714
短期借入金	17,156	11,782
1年内返済予定の長期借入金	300	—
未払金	2,909	2,799
リース債務	137	398
未払法人税等	839	725
未払費用	2,274	2,147
賞与引当金	432	749
その他	1,369	1,535
流動負債合計	34,799	31,854
固定負債		
繰延税金負債	564	594
リース債務	131	1,299
退職給付に係る負債	81	87
役員退職慰労引当金	24	25
株式給付引当金	188	130
資産除去債務	264	292
その他	302	311
固定負債合計	1,556	2,741
負債合計	36,356	34,595
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,770	6,770
資本剰余金	6,896	6,896
利益剰余金	34,531	35,421
自己株式	△4,152	△4,077
株主資本合計	44,045	45,011
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	385	662
為替換算調整勘定	6,687	11,012
退職給付に係る調整累計額	△22	△20
その他の包括利益累計額合計	7,050	11,654
非支配株主持分	5,419	6,018
純資産合計	56,515	62,684
負債純資産合計	92,871	97,280

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	58,385	59,701
売上原価	51,128	50,968
売上総利益	7,256	8,733
販売費及び一般管理費	6,904	6,567
営業利益	351	2,165
営業外収益		
受取利息	40	63
受取配当金	16	20
補助金収入	48	0
為替差益	47	232
雑収入	159	150
営業外収益合計	312	467
営業外費用		
支払利息	162	388
雑損失	97	104
営業外費用合計	259	493
経常利益	404	2,139
特別損失		
特別退職金	256	—
特別損失合計	256	—
税金等調整前四半期純利益	148	2,139
法人税、住民税及び事業税	546	674
法人税等調整額	△93	△67
法人税等合計	452	606
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△304	1,533
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△54	419
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△249	1,114

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△304	1,533
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△34	277
為替換算調整勘定	6,154	4,545
退職給付に係る調整額	△17	1
その他の包括利益合計	6,102	4,824
四半期包括利益	5,797	6,357
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,433	5,718
非支配株主に係る四半期包括利益	364	639

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	148	2,139
減価償却費	1,788	1,523
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	84	75
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	10	1
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	1	1
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△20	△81
賞与引当金の増減額 (△は減少)	246	301
補助金収入	△48	△0
特別退職金	256	—
受取利息及び受取配当金	△56	△83
支払利息	162	388
為替差損益 (△は益)	1,382	353
売上債権の増減額 (△は増加)	△4,000	977
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△1,820	3,449
仕入債務の増減額 (△は減少)	△574	1,573
未収入金の増減額 (△は増加)	△7	△522
未払金の増減額 (△は減少)	△1,031	△290
前渡金の増減額 (△は増加)	△3,893	2,098
その他	826	90
小計	△6,545	11,996
利息及び配当金の受取額	56	83
利息の支払額	△162	△388
補助金の受取額	48	0
特別退職金の支払額	△253	—
法人税等の支払額	△592	△804
法人税等の還付額	433	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	△7,014	10,887
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の償還による収入	834	—
投資有価証券の取得による支出	△0	△0
有形固定資産の取得による支出	△1,468	△1,298
無形固定資産の取得による支出	△16	△31
長期前払費用の取得による支出	△23	△37
その他	△143	30
投資活動によるキャッシュ・フロー	△818	△1,337
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	9,313	△6,434
長期借入金の返済による支出	△487	△300
配当金の支払額	—	△223
非支配株主への配当金の支払額	—	△92
自己株式の取得による支出	—	△0
その他	—	△138
財務活動によるキャッシュ・フロー	8,825	△7,189
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,169	874
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	2,162	3,235
現金及び現金同等物の期首残高	12,089	13,646
現金及び現金同等物の四半期末残高	14,252	16,882

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(追加情報)

(表示方法の変更)

前連結会計年度において、「流動負債」及び「固定負債」の「その他」に含めていた「リース債務」は、金額的重要性が増したため、当第2四半期連結会計期間より独立掲記することとしました。この表示方法の変更を反映させるため、前連結会計年度の連結財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前連結会計年度の連結貸借対照表において、「流動負債」の「その他」に表示していた137百万円及び「固定負債」の「その他」に表示していた131百万円は、「リース債務」として組替えております。

(重要な後発事象)

当社グループの連結子会社である豊達電機(南寧)有限公司は、2023年10月27日付で、以下のとおり南寧工場の譲渡手続を完了しました。

(1) 当該連結子会社の概要

名称	豊達電機(南寧)有限公司
所在地	南寧市高新区科园東十一路8号
事業の内容	清算手続中(2022年6月末をもって操業停止)
資本金	91,316千人民元
設立年月	2007年11月23日
出資比率	当社100%子会社フォスターエレクトリックCo., (ホンコン) Ltd. 100%

(2) 譲渡の理由

当社グループは、モバイルオーディオ製品の需要動向に鑑み、生産体制の最適化を図るため、南寧工場の操業を2022年6月末に停止していましたが、経営資源を有効に活用するため同工場を譲渡することとしました。

(3) 譲渡資産の内容

資産の内容	敷地面積(19,550㎡)、建築面積(20,122㎡)
所在地	南寧市高新区科园東十一路8号
譲渡価額	約7億円
現況	遊休資産(2022年6月末をもって操業停止)

(4) 譲渡先の概要

広西旭鑫偉業科技有限公司。譲渡先と当社との間には、資本関係、人的関係、取引関係はありません。また、譲渡先は当社の関連当事者には該当しません。

(5) 当該事象の連結損益に与える影響額

当該固定資産の譲渡に伴い、当第3四半期連結会計期間において、譲渡に係る諸費用等を控除した固定資産売却益約7億円を特別利益に計上する見込みです。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額(注) 2
	スピーカ事業	モバイルオー ディオ事業	その他事業			
売上高						
外部顧客への売上高	47,641	6,841	3,901	58,385	—	58,385
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	1,385	1,385	△1,385	—
計	47,641	6,841	5,286	59,770	△1,385	58,385
セグメント利益又は損失 (△)	△51	317	85	351	△0	351

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引の消去です。

2 セグメント利益又は損失(△)の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額(注) 2
	スピーカ事業	モバイルオー ディオ事業	その他事業			
売上高						
外部顧客への売上高	47,372	8,255	4,073	59,701	—	59,701
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	1,501	1,501	△1,501	—
計	47,372	8,255	5,574	61,202	△1,501	59,701
セグメント利益又は損失 (△)	1,984	362	△181	2,165	—	2,165

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引の消去です。

2 セグメント利益又は損失(△)の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。